

つきたい力

学校目標

「生きる意欲、豊かな感性と行動力を持った人間の育成」

- ①自ら学ぶ力 ②言語能力 ③情報活用能力

取組みの概要・ポイント

授業づくり

- ①教科横断型・探究型の新しい授業開発（1年図鑑作り、6年武将バトルなど）
- ②いつでもどんな学習にも学校図書館を使う方法の開発（学校図書館の役割の意識付け）
- ③新聞活用方法の開発（新聞スピーチ・新聞切り抜きしおり作り）

読書推進

- ①ESD、国際理解に関する活用の開発（蔵書資料構築）
- ②デジター図書・ICT活用の開発（読書資料のデジター化）
- ③中学校区の連携（図書委員会の交流など）

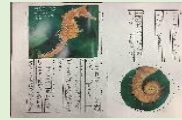
具体的な取組み① 学校図書館を活用した授業作り

自ら学ぶ力

○1年「動物の〇〇図鑑を作ろう！」（国語科・生活科）

仕掛け・・・事前に全校朝会で図書館の3つの機能を紹介。
小学校の学習でわからないことがあったときは学校図書館に来ればよいことを1年生の最初う。

- ・国語「くちばし」の学習を通して図鑑作りをする活動を設定した。児童は、「どうしたら調べられるか図書館に行ってみよう！」と学校図書館に行き、司書の先生に相談し、資料をレファレンスしてもらい、動物の耳図鑑、鼻図鑑、しっぽ図鑑などを完成させる。その後「自動車くらべ図鑑」「どうぶつ赤ちゃん図鑑」にも挑戦。



言語能力

○6年「推し武将バトル」（国語科・総合的な学習の時間・社会科）

仕掛け・・・武将カードを使用し、各武将の本を事前に用意する。他校の6年生に武将バトルにリモートで参加してもらう。

- ・武将カードや資料から情報を集めた児童は、①タブレットに情報をまとめ（整理して書く力）、②それをプレゼンテーションして（話す力）個人バトルを行い、③勝ち抜いた武将を今度はチームで協力して推し、④他校の児童にも伝えられるプレゼンテーション（伝える対象を考慮して話す力）を行った。

情報活用能力

○4年「食品ロスをなくそう！」（総合科・社会科・算数科）

仕掛け・・・3種類の情報をそれぞれの良さを活かして活用。

- ①実物の情報→本校の残食の現状を給食の配膳員さんから聞く。（導入）
- ②本や資料からの情報→4年生にわかりやすい内容で、食品ロスの現状を一目でわかるようにまとめた資料を一人に1冊、提供する。（課題設定）
- ③インターネットからの情報→課題解決時、広く深く調べるために活用。班で調べ学習を行う。



学校全体の取組み

- ・4月当初の職員会議で年間計画を共有。毎月の校内研究部会で、取組みの打ち合わせと既習学習の交流。
- ・担任、専科、学校司書、司書教諭の役割分担を明確にして指導案検討会を行う。
- ・**喜志一心**を目標にチーム喜志で協働。
（職員による読み聞かせ・図書委員会のイベントに積極的に参加・職員室の校長図書館など）

具体的な取組み② 本に親しむ場づくり

①デジター図書の活用

支援学級の国語科の授業でデジター図書活用
☆喜志小学校のお宝を見つけるためのチーム謎解きゲーム



〇〇のかずをさがせよう。
なまえをおぼえて
いってみよう！
〇〇をさがしてね！
がめんをさわると
ヒントをいってくれるよ。

校長先生
教頭先生
職員室の先生方

②図書館前廊下の活用

- ・図書活用授業の成果物の掲示
- ・図書館の3つの機能の紹介掲示
- ・学習や季節に合わせた掲示物
- ・図書委員会のイベントの掲示
- ・絵本コーナー（机といすの設置）



③中学校区の連携

- ・6年生の推し武将バトルに隣接校のリモート参加
- ・図書委員会ビデオレターの交換
- ・外国語活動での交流
- ・LGBTQに関する教材用絵本を学年ごとに決めて活用



取組みを通しての子どもの変容

- ・全国学力テストアンケートの回答・・・読書は好きですかの肯定的回答→83.6%（大阪府→72.5% 全国→73.1%）
- ・全国学力テストの記述問題の無解答率・・・国語→4.0%（大阪→10.5% 全国9.9%） 算数→3.0%（大阪→6.0% 全国6.0%） 理科→5.5%（大阪→6.0% 全国6.0%）
- ・学校図書館の来館数と貸出冊数の増加 年間一人当たりの貸出冊数 2019年度 14冊 2020年度 62冊（電子化導入 GTM1年目） 2021年度 86冊（GTM2年目）
- ・図書の時間（全学年毎週1時間）に、返却貸出し・読書以外の調べ学習、新聞スピーチなどの活動の定着（毎回30分間ほど活動）